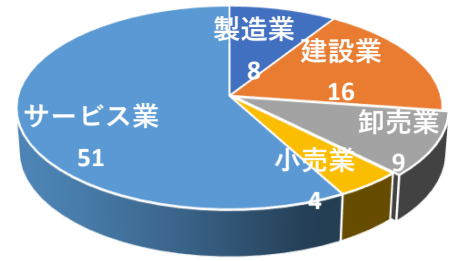


# 弘前商工会議所企業景況調査結果【令和7年7～9月期】

1 調査対象・・・ 弘前商工会議所会員企業

2 調査対象期間・・・ 令和7年7月～9月期

3 調査方法及び回答方法・・・ 当所11月会報に折込発送、FAX並びに回答フォームにて回答



4 回答企業の内訳・・・

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
回答数 (件)	8	16	9	4	51	88
構成比	9%	18%	10%	5%	58%	100%

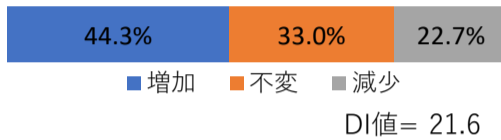
5 業況について・・・

※DI値 (景況判断指数) について  $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを含みます。

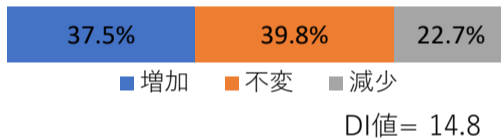
## ○「売上額」について

・7月～9月の「売上額」実績は、去年同期と比較して  
<全業種>

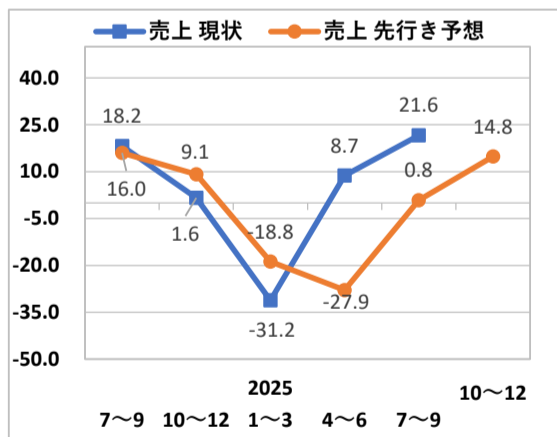


業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	50.0%	37.5%	12.5%	37.5
建設業	18.8%	56.3%	25.0%	-6.3
卸売業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	49.0%	27.5%	23.5%	25.5

・10月～12月の「売上額」予想は、去年同期と比較して  
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	37.5%	50.0%	12.5%	25.0
建設業	18.8%	43.8%	37.5%	-18.8
卸売業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0
小売業	75.0%	25.0%	0.0%	75.0
サービス業	43.1%	35.3%	21.6%	21.6



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4～6月期: 8.7) より12.9ポイント増加して21.6となりました。

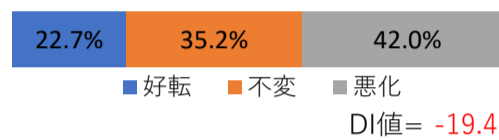
◇先行き (10～12月期) の予想については、前回調査 (7～9月期: 0.8) より14ポイント増加して14.8ポイントとなりました。

### ○多くの企業が今期・来期大きく増加

売上額について、多くの企業で「増加」と回答し、今期のDI値は21.6となりました。来期予想も「増加」の回答が多く、特に小売業の「増加」の回答が今期100%、来期75%となりました。

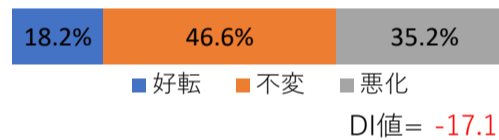
## ○「採算 (純利益)」について

・7月～9月の「採算」実績は、去年同期と比較して  
<全業種>

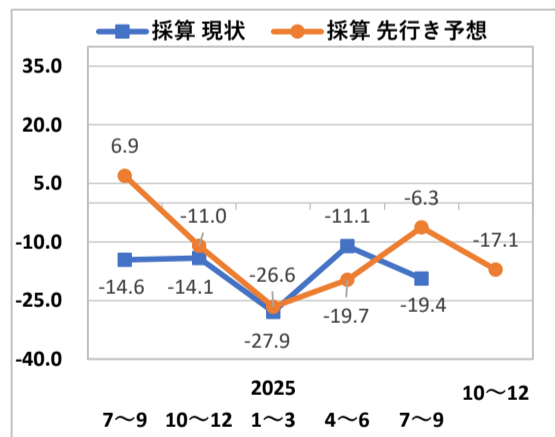


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	12.5%	50.0%	37.5%	-25.0
建設業	12.5%	43.8%	43.8%	-31.3
卸売業	22.2%	22.2%	55.6%	-33.3
小売業	50.0%	25.0%	25.0%	25.0
サービス業	25.5%	33.3%	41.2%	-15.7

・10月～12月の「採算」予想は、去年同期と比較して  
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0
建設業	12.5%	43.8%	43.8%	-31.3
卸売業	11.1%	55.6%	33.3%	-22.2
小売業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0
サービス業	19.6%	43.1%	37.3%	-17.6



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4～6月期: ▲11.1) より8.3ポイントマイナス幅が拡大して▲19.4となりました。

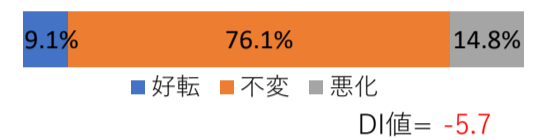
◇先行き (10～12月期) の予想については、前回調査 (7～9月期: ▲6.3) より10.8ポイントマイナス幅が拡大して▲17.1となりました。

### ○今期・来期ともに減少

採算 (純利益) について、前回調査では回復傾向だったものの、今回調査DI値では、今期・来期ともに減少となりました。企業からは「値上げができない」、「価格転嫁できない」の声が多い印象でした。

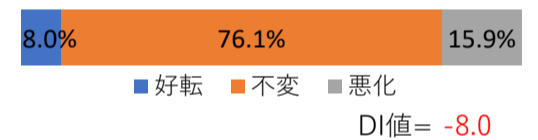
## ○「資金繰り」について

・7月～9月の「資金繰り」実績は、去年同期と比較して  
<全業種>

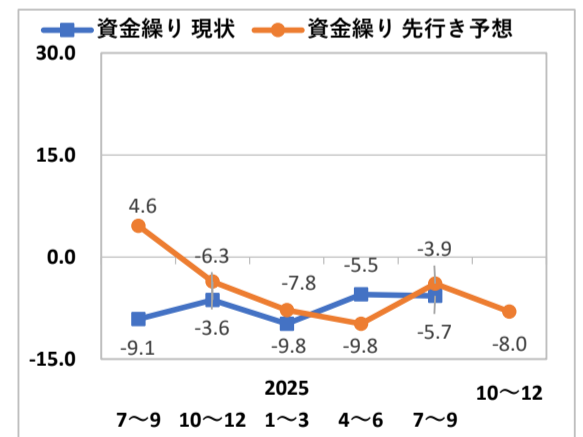


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	87.5%	12.5%	-12.5
建設業	6.3%	87.5%	6.3%	0.0
卸売業	0.0%	77.8%	22.2%	-22.2
小売業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0
サービス業	9.8%	72.5%	17.6%	-7.8

・10月～12月の「資金繰り」予想は、去年同期と比較して  
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	87.5%	12.5%	-12.5
建設業	6.3%	81.3%	12.5%	-6.3
卸売業	0.0%	88.9%	11.1%	-11.1
小売業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0
サービス業	9.8%	70.6%	19.6%	-9.8



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4～6月期: ▲5.5) より0.2ポイントマイナス幅して▲5.7となりました。

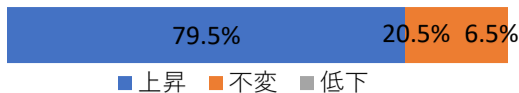
◇先行き (10～12月期) の予想については、前回調査 (7～9月期: ▲3.9) より4.1ポイントマイナス幅が拡大して▲8.0となりました。

### ○多くの企業が「不変」

資金繰りにおいて、回答の7割が「不変」となりましたが、DI値ではマイナス状態が続いています。企業から冬季の資金繰りを心配する声も見受けられました。

### ○「仕入単価」について

・7月～9月の「仕入単価」実績は、昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= 79.6

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
建設業	87.5%	12.5%	0.0%	87.5
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	68.6%	31.4%	0.0%	66.6

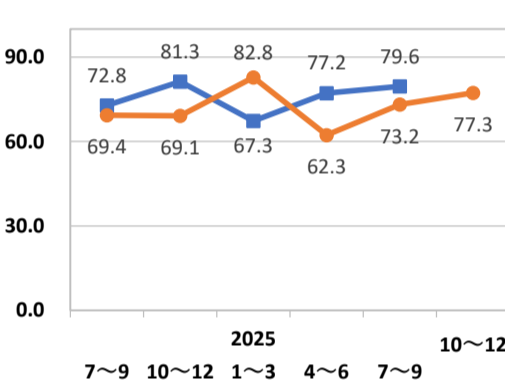
・10月～12月の「仕入単価」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= 77.3

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
建設業	87.5%	12.5%	0.0%	87.5
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	66.7%	31.4%	2.0%	64.7

■ 仕入単価 現状 ■ 仕入単価 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4~6月期: 77.2) より2.4ポイント増加して79.6となりました。

◇先行き (10~12月期) の予想については、前回調査 (7~9月期: 73.2) より4.1ポイント増加して77.3となりました。

#### ○「増加」の回答が多い状態続く

仕入単価について、今期のDI値は79.6、来期のDI値では77.3となり、高止まりが続いています。企業からは「米が高すぎる」といった声が多い印象でした。

### ○「製品・商品在庫」について

・7月～9月の「製品・商品在庫」実績は昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -1.2

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0
建設業	0.0%	87.5%	12.5%	-12.5
卸売業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0
小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
サービス業	3.9%	90.2%	5.9%	-2.0

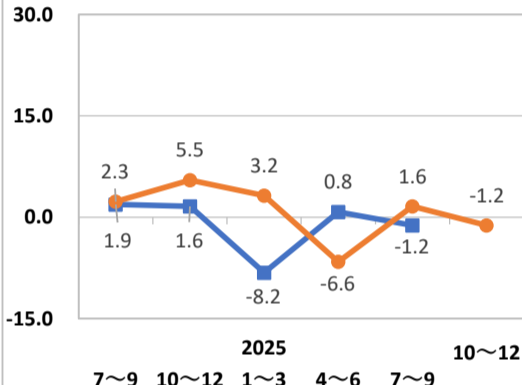
・10月～12月の「製品・商品在庫」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -1.2

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	12.5%	75.0%	12.5%	0.0
建設業	0.0%	93.8%	6.3%	-6.3
卸売業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0
小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
サービス業	3.9%	92.2%	3.9%	0.0

■ 在庫 現状 ■ 在庫 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4~6月期: 0.8) より2.0ポイント減少して▲1.2となりました。

◇先行き (10~12月期) の予想については、前回調査 (7~9月期: 1.6) より2.8ポイント減少して▲1.2となりました。

#### ○「不変」が最も多い回答

製品・商品在庫において、多くの企業で「不変」と回答しました。しかし建設業、サービス業のDI値においてはマイナスとなりました。

### ○「従業員数」について

・7月～9月の「従業員数」実績は、昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -2.3

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	25.0%	62.5%	12.5%	12.5
建設業	12.5%	75.0%	12.5%	0.0
卸売業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1
小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
サービス業	11.8%	68.6%	19.6%	-7.8

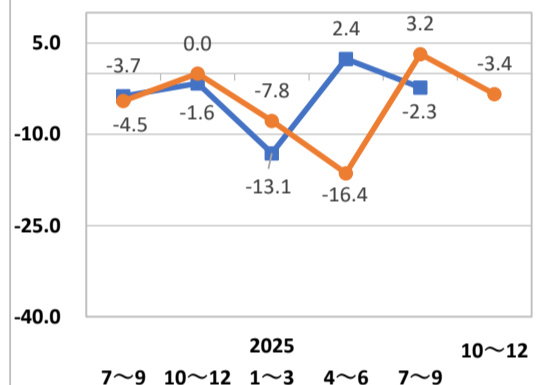
・10月～12月の「従業員数」予想は、昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -3.4

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	12.5%	87.5%	0.0%	12.5
建設業	18.8%	68.8%	12.5%	6.3
卸売業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1
小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
サービス業	9.8%	68.6%	21.6%	-11.8

■ 従業員 現状 ■ 従業員 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4~6月期: 2.4) より4.7ポイント減少して▲2.3となりました。

◇先行き (10~12月期) の予想については、前回調査 (7~9月期: 3.2) より6.6ポイント減少して▲3.4となりました。

#### ○不変が多いがDI値がマイナス値となる

従業員数について、多くの企業で「不変」と回答していますが、DI値ではマイナス値となりました。後半では就業調整による人手不足問題の対応策について調査結果をまとめましたのでご覧ください。

### ○「自社景況」について

・7月～9月の業況 (貴社) 実績は昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -4.6

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	12.5%	75.0%	12.5%	0.0
建設業	6.3%	75.0%	18.8%	-12.5
卸売業	22.2%	33.3%	44.4%	-22.2
小売業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0
サービス業	25.5%	45.1%	29.4%	-3.9

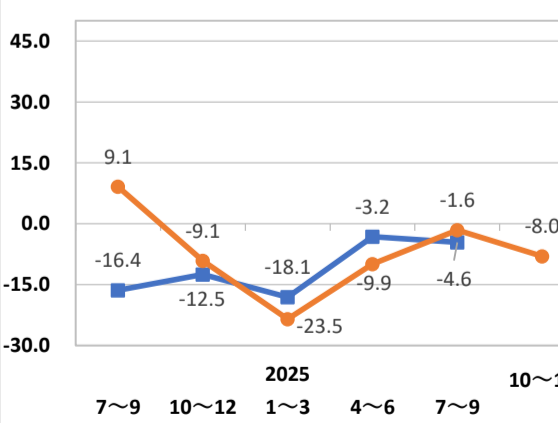
・10月～12月の業況 (貴社) 予想は昨年同期と比較して  
<全業種>



DI値= -8.0

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	87.5%	12.5%	-12.5
建設業	6.3%	75.0%	18.8%	-12.5
卸売業	11.1%	77.8%	11.1%	0.0
小売業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0
サービス業	21.6%	47.1%	31.4%	-9.8

■ 自社景況 現状 ■ 自社景況 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4~6月期: ▲3.2) より1.4ポイントマイナス幅が拡大して▲4.6となりました。

◇先行き (10~12月期) の予想については、前回調査 (7~9月期: ▲1.6) より6.4ポイントマイナス幅が拡大して▲8.0となりました。

#### ○今期・来期ともにやや悪化となる

自社景況について、前回調査では回復したものの、今回調査ではやや悪化となりました。

○「業界景況」について

・7月～9月の「業界景況」実績は、昨年同期と比較して

<全業種>



■好転 ■不変 ■悪化

DI値 = -42.0

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	75.0%	25.0%	-25.0
建設業	6.3%	68.8%	25.0%	-18.8
卸売業	0.0%	22.2%	77.8%	-77.8
小売業	0.0%	25.0%	75.0%	-75.0
サービス業	9.8%	37.3%	52.9%	-43.1

・10月～12月の「業界景況」予想は、昨年同期と比較して

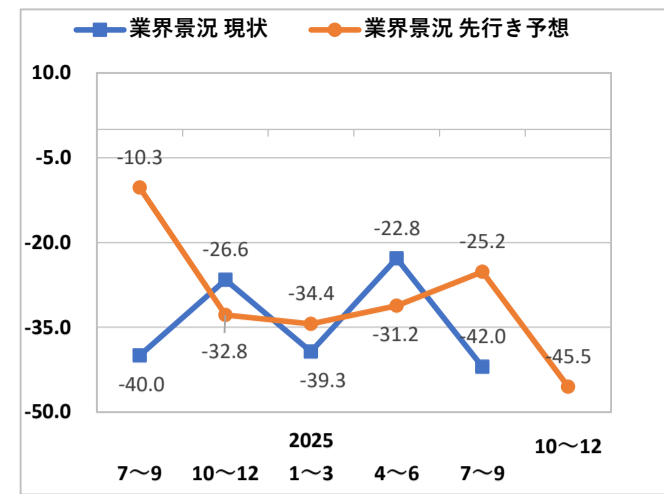
<全業種>



■好転 ■不変 ■悪化

DI値 = -45.5

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	75.0%	25.0%	-25.0
建設業	6.3%	62.5%	31.3%	-25.0
卸売業	0.0%	22.2%	77.8%	-77.8
小売業	0.0%	25.0%	75.0%	-75.0
サービス業	5.9%	41.2%	52.9%	-47.1



◇DI (前年同期比) が前回調査 (4～6月期: ▲22.8) より19.2ポイントマイナス幅が拡大して▲42.0となりました。

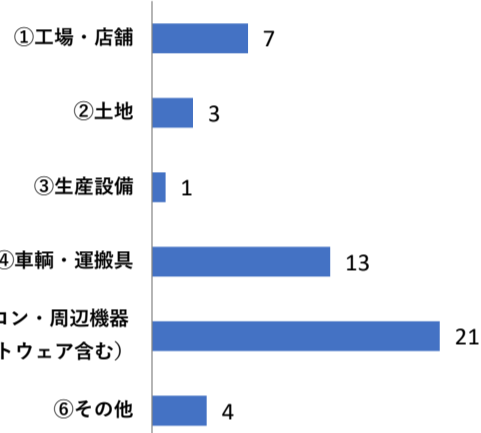
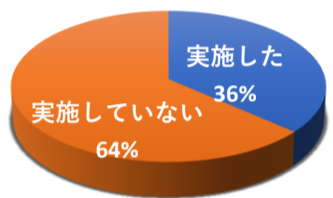
◇先行き (10～12月期) の予想については、前回調査 (7～9月期: ▲25.2) より20.3ポイントマイナス幅が拡大して▲45.5となりました。

○業界景況感は今季・来期ともに大きく悪化

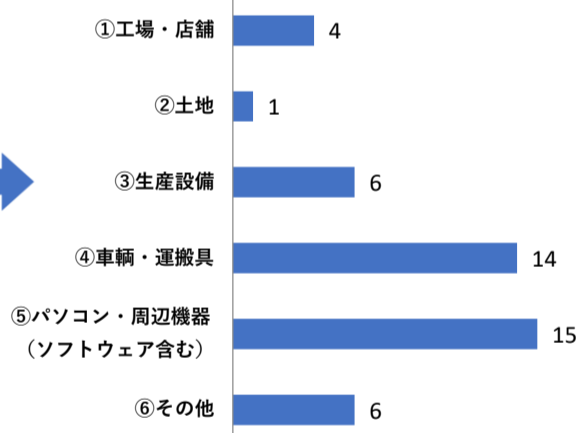
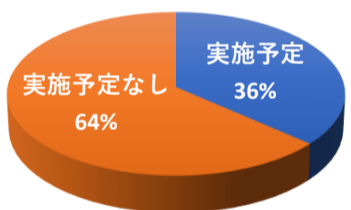
業界景況について、すべての業種でDI値がマイナスとなり、大きく悪化となりました。来期も大きく悪化予想となっており、低迷が続いています。

○設備投資の実施状況及びその内容について ※複数回答

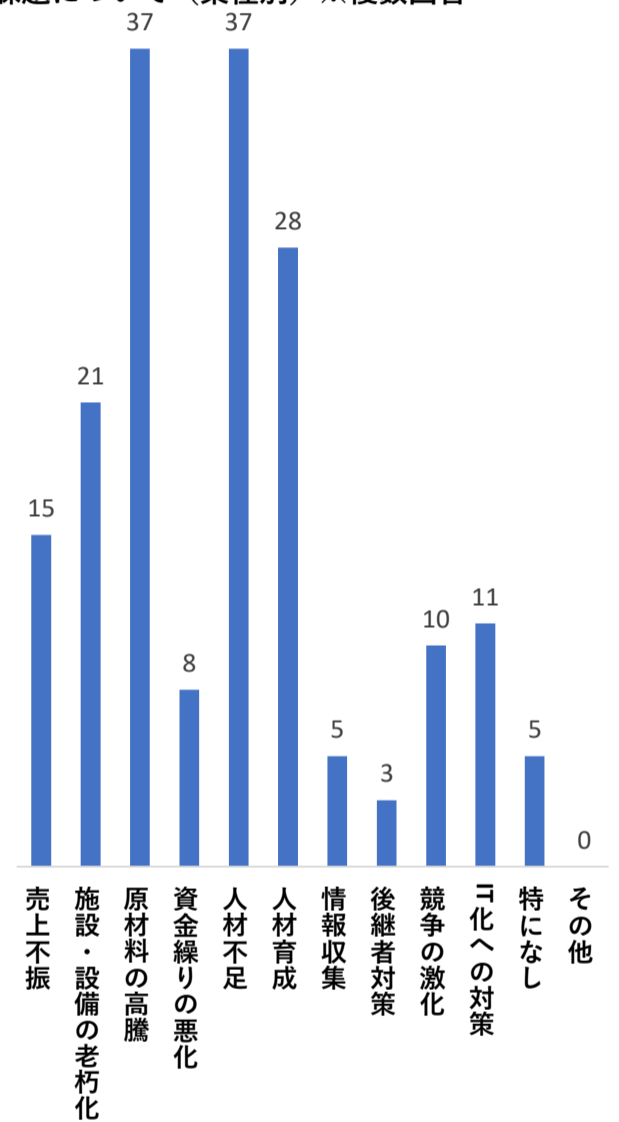
・7月～9月の設備投資について



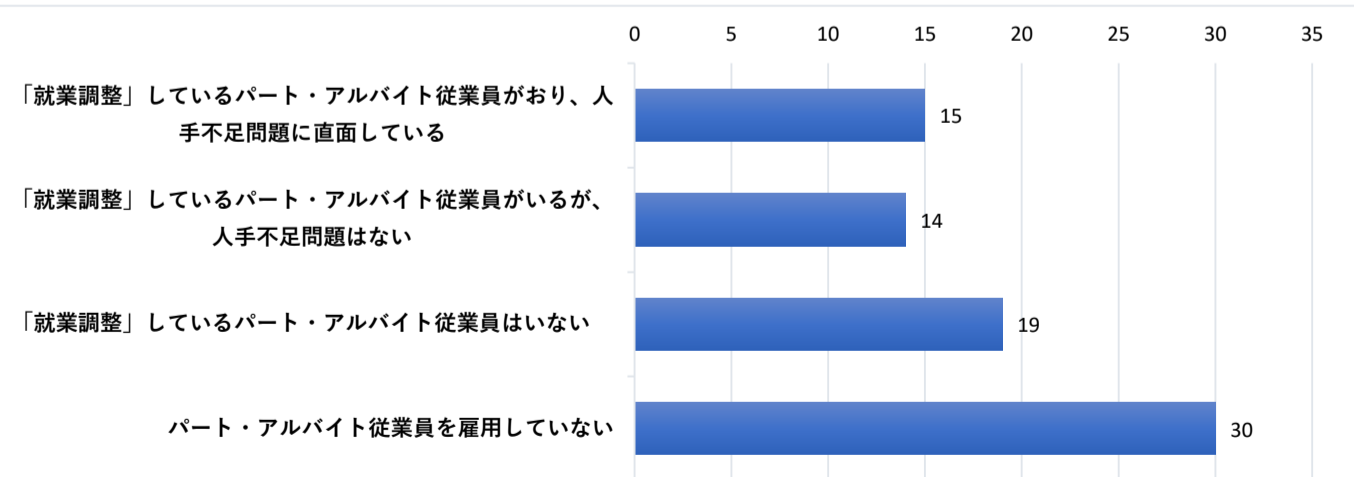
・10月～12月の設備投資の見通しについて



○経営上の課題について (業種別) ※複数回答



○年収の壁の影響について

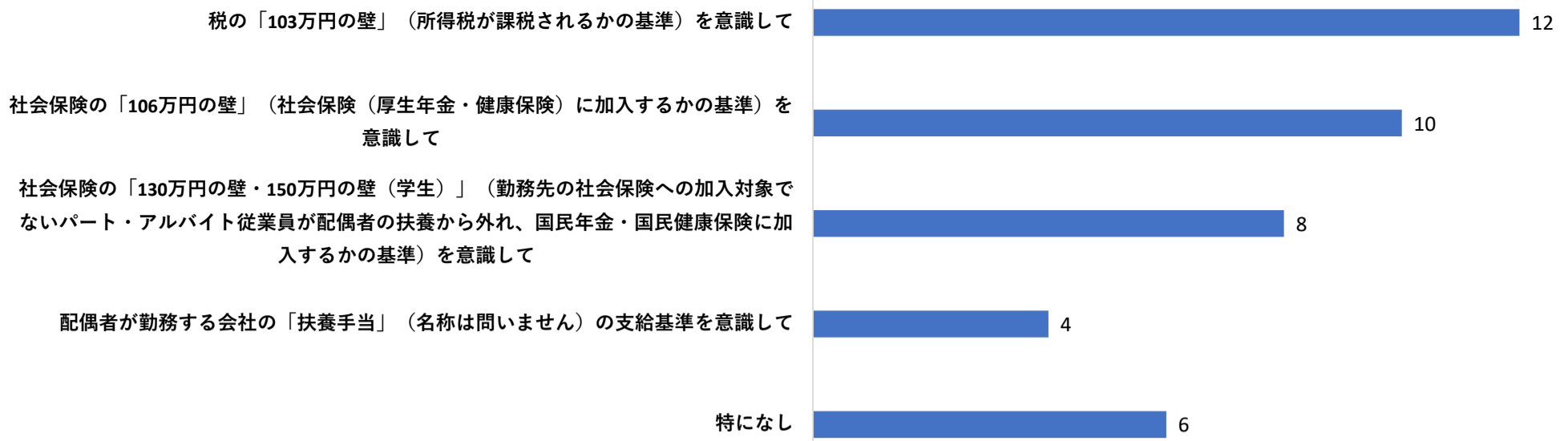


○年収の壁の影響がない企業が多数

年収の壁の影響について、『「就業調整」しているパート・アルバイト従業員いるが人手不足問題はない』が14件、『「就業調整」しているパート・アルバイト従業員はいない』が19件、『パート・アルバイト従業員を雇用していない』が30件、合計63件となりました。一方で、『「就業調整」しているパート・アルバイト従業員があり、人手不足問題に直面している』の回答が15件となりました。



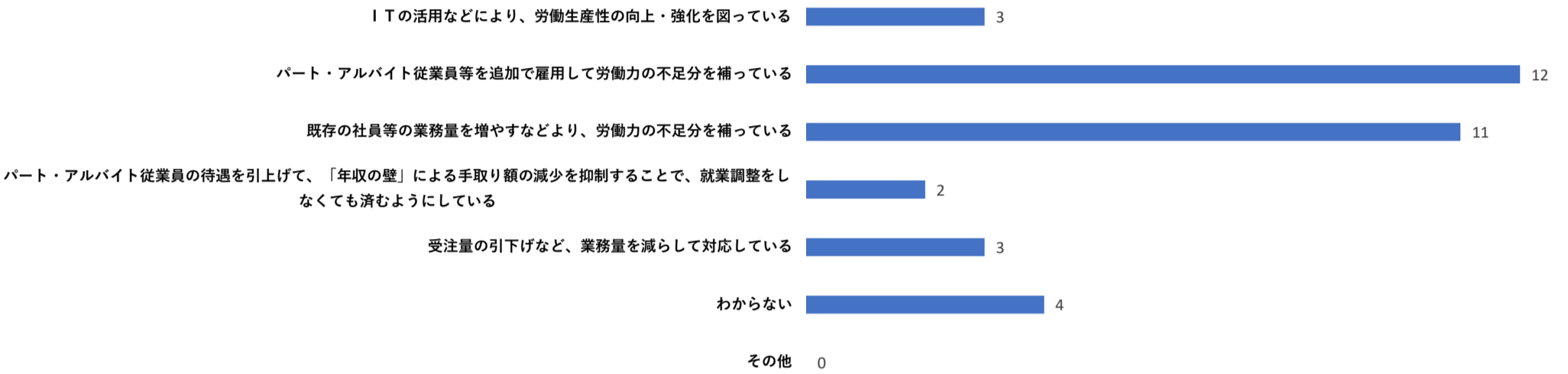
○就業調整する理由について



○「103万円の壁」を意識する回答が最多

就業調整する理由について、最も多い回答は『「103万円の壁」（所得税が課税されるかの基準）を意識して』の12件、次いで『「106万円の壁」（社会保険（厚生年金・健康保険）に加入するかの基準）を意識して』が10件、『「130万円・150万円（学生）の壁」（勤務先の社会保険への加入対象でないパート・アルバイト従業員が配偶者の扶養から外れ、国民年金・国民健康保険に加入するを意識して』が10件となりました。

○就業調整による人手不足の対応策について



○「パート・アルバイト従業員の追加」、「既存社員の業務量の増加」が多い回答

就業調整による人手不足の対応策については、最多の回答が「パート・アルバイト従業員等の追加で雇用して労働力の不足分を補っている」が12件、次いで「既存の社員等の業務量を増やすなどにより労働力の不足分を補っている」が11件となりました。対応策について「わからない」と回答する企業も見受けられ、最低賃金の上昇の影響も伴い、今後も対応に苦慮する企業が増えそうです。

○経営上の問題について（企業の生の声）

カテゴリー	企業の生の声（一部抜粋）	業種
人材関係	新しい人材が入社してこない	建設業
	従業員不足	サービス業
	私以外に幹部社員がいないこと	サービス業
物価高騰関係	建設業界において担い手不足、資機材の高騰の問題が長期化しており、それが民間設備投資にも影響がみられる。公共工事はある程度あるが弊社の売上には寄与していない	建設業
	年々基本給を上げざるを得ない状況であり、弊社からは資金は出るが、元請からの賃金の上昇を見込めず、ここ2年間は赤字経営。従業員の賃上げと利益の差が開く一方で黒字が見込めなくなっている。	建設業
	物価高騰で新築住宅設計の受注が激減している。	建設業
	地方中小企業経営における「人手不足改善×働き方改革×賃上げ推進×止まらない資材高騰」これらの要件を過不足なく良い方向へ満足する方程式を速やかに制度設計してもらいたい	建設業
	米仕入れ価格高騰	小売業
	原材料、光熱費、人件費の高騰	サービス業
	人件費の高騰分を得意先に転嫁できない	サービス業
	人件費高騰、資材価格高騰ばかりで取引先には値上げができず経営がかなり厳しく廃業も検討	サービス業
	米の高騰、人件費の上昇。売上は増えたが、利益は減った。値上げに踏み切れる状況でもなく、先が見えない。	サービス業
その他	大手の進出、価格コンサル、法規対応	卸業
	夏季以外の売り上げ不振	小売業
	保険業界全体へ金融庁からの体制整備指導	サービス業
	業界の最新技術（AI、パソコンソフト）を習得する機会がない	サービス業
	事業拡大のための資金調達が必要	サービス業
	人口減少と少子高齢化、モータリゼーションの進行、設備老朽化と維持費の増加、資金繰り	サービス業
	国の介護保険政策	サービス業
	冬季間の資金繰り	サービス業